

いよいよ「教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会」当日を迎えます。これまで陰に陽に大会に向けてご尽力くださった先生方に、篤く御礼申し上げます。

「次代を担うようばくへ」これは今大会のスローガンとして学生が考えてくれたものであり、まさに今の若者がこれからの主役であります。教祖百三十年祭で真柱様が「道の将来を担う人材育成の必要性」を述べられた今、次代を担うようばくを育てる私達のつとめは大変重要であると思えます。

過日、年祭後の最初の本部行事として、学修大学の部ならびに高校卒業生コースが無

事につとめられました。その大学の部の感話大会で、「昨年の春学参加者が十五人。大会には現在四十人の参加確定者があり、あと五人誘えば昨年の動員数の三倍になります」と話してくれた学生がいました。先日、ツイッターでその学生の投稿をたまたま見つけたのですが、その日の夜に早速五人の参加者が決まり、目標を変更して昨年の四倍を目指す意気込みを書き込んでくれていました。

今、本当にどの学生たちも必死で声かけに励んでくれていると思います。結果はともかく、まずは頑張った学生を労ってやりたいと思います。今回の彼らの実動は、必ずや将来に大きな実りとなって現れると信じます。

「若い者寄り来る處厄介、

世界から見れば厄介。なれど道から厄介ではない。道から十分大切。……」

(M26・6・19)

若者育成の心構えとして度々引用されるおさしづですが、私は昔、このおさしづが引かれるたびに正直なところ、「またか」という思いしか持てていませんでした。しかし、改めてしっかりとその前後を読ませていただくと、とても深い意味があることを感じます。大会参加者はもちろん、声をかけたが参加できなかった学生にも今後お道につながってもらえるよう、道の上に十分大切な若者を丹精をしていくことが求められます。そして、私達自身もあらきとりよう・みちのだいとして共に育つ努力をさせていただきたいと思

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会

全教会からの参加を目指して

立教179年 3月28日 午前10時

大会動員目標

1万人

次代を担うようばくへ――共に育つ努力を

いよいよ「教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会」当日を迎えます。これまで陰に陽に大会に向けてご尽力くださった先生方に、篤く御礼申し上げます。

事務局長

西 正一郎

学生担当者報

立教179年3月25日

【直属学生層育成者講習会】

・中央	2月18日	大教会	70名
・東中央	2月19日	大教会	200名
・松阪	2月20日	大教会	125名
・河原町	2月21日	大教会	100名
・笠岡	2月21日	大教会	269名
・朝倉	2月22日	大教会	300名
・仙臺	2月22日	大教会	86名
・双名島	2月22日	大教会	90名
・大原	2月22日	大教会	98名
・越乃國	2月23日	大教会	100名
・生野	2月23日	大教会	150名
・愛知	2月23日	大教会	200名

吉川委員長出向

松村副委員長出向

葛西委員長出向

深谷委員長出向

中島委員長出向

松村副委員長出向

吉川委員長出向

川口委員長出向

葛西委員長出向

人事

《立教179年2月25日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

・中和	2月24日	大教会	220名
・八木	2月24日	大教会	200名
・此花	2月24日	詰所	133名
・東神田	2月24日	大教会	97名
・中背	2月24日	大教会	150名

葛西委員長出向

秋岡副委員長出向

安井委員長出向

清水委員長出向

吉川委員長出向

20日	学生部部会
22日	事務局連絡会
23日	『Happist』納品
24日	屋外プログラムチーム会議
25日	『Happist』梱包
26日	HARP研修会チーム会議
27日	委員会 例会 広報室会議
28日	担当者活動部部会
29日	出版部部会
30日	（屋内）まなびば研修会（27日）
31日	教祖130年祭学生おぢばがえり大会
1日	プロジェクト会議
2日	学修大学の部直前研修会（2日）
3日	学修大学の部（9日）
4日	学修高校卒業生コース直前研修会
5日	学修高校卒業生コース（8日）
6日	委員会
7日	まなびば研究室会議
8日	担当者活動部部会
9日	学修部部会
10日	ビデオチーム会議
11日	教祖130年祭学生おぢばがえり大会
12日	プロジェクト会議
13日	学修高校の部研究室会議
14日	学修部部会

1

16

立教百七十九年

学生生徒修養会 大学の部 開催報告

「おやさまの御心を求めて」

東筋の桜並木が色づき始めた三月三日、「おやさまの御心を求めて」のテーマのもと、本年も『学生生徒修養会 大学の部』が開催された。今年は五百三十九名の受講生と百五十名のスタッフが語り合い、励まし合いながら教祖の御心に包まれて、おぢばで一週間を過ごした。

本年の塾体制は、三回目以上または二回目の四年生が対象の「みのり塾」、二回目対象の「つなぎ塾」、そして、初参加の二年生以上対象の「よふき塾」、一年生対象の「まこと塾」と「いさみ塾」の構成を採った。

初日、緊張と楽しみの中、お引き寄せいただいた学生たちは、ウォークラリーなどのプログラムを通して職員や担当カウンセラーをはじめ塾スタッフとの交流を深め、これから共に学び、共に育つ心の準備を整えた。

二日目、塾の特性に合わせ、よふき塾、まこと塾、いさみ塾の初回者三塾は「お道のす

ばらしさ」おたすけの喜び」について、つなぎ塾は「教祖のひながた」教祖を身近に」について、みのり塾は「おつとめ」についてそれぞれ講義を行った。また、二日目と三日目の午後には、おつとめの基本コース、をどり、鳴物、祭儀式など希望する科目を選択し、修練に励んだ。

三日目、五つ設けた講義からそれぞれが受けたいものを選び、各分野で活躍される先生方からおたすけ話を聞かせていただいた。さらに、「青年会・婦人会の時間」では男女が分かれて、それぞれの徳分や役割について学んだ。女子は加えて、本年開催される「女子青年大会」についての思いを聞かせていただき参加を誓い合った。

四日目午前中、みのり塾は月次祭まなびに向けての着付け練習を行った。その他の塾は、塾別行事を行い他の班との交流を深めた。午後からは、翌日のをいがけに向けて全塾がをいがけ、演習を行い、をいがけ、講話を聞き、仲間と共に励まし合いながら路傍講演の原稿作成に励んだ。

五日目は、メインプログラムともいえるに、をいがけを行った。吉川委員長より激励の言

葉を受け、不安を抱きつつも御存命の教祖のお伴をさせていただくことを誓い合い、勇気を持ってそれぞれの布教地へと向かった。今年は大津市、奈良、京都、大阪において「この教えの良さをもちとたくさんの人に知ってもらいたい」と路傍講演、神名流し、リーフレット配りに仲間と共に真実を尽くした。

みのり塾とつなぎ塾はさらに戸別訪問も行った。また、この日のみり塾では正午より、受講生とスタッフ一同がおつとめ衣を着用し、心をひとつに、月次祭まなびを厳かに勤めた。

六日目午前中、みのり塾は再び市内にてをいがけを行った。他の塾は別席を運ぶ者と、回廊ひのきしんを行う者に別れた。午後は本部員講話。井筒梅夫先生より御教えを信仰させていただく大切さと素晴らしさについて、体験を通してのお話を聞かせていただいた。

最終日、閉講式において表統領中田善亮先生より、普段の生活の中でお道の教えを実践することの重要性と今後の歩みについてのお言葉をいただき、大学の部は無事、閉講した。

この機に学び得た教祖の御心を胸に、新たな塚に向けて学生と共に育ち、お道の将来を担う人材の育成に努めていきたい。

学生生徒修養会 大学の部

受講生感想文

今回、をいがけで戸別訪問へ行かせていただいた時、最後の一軒でおさづけを取り次がせていただくことができました。そこへ行き着くまでは、インターホンを押すたびに、「大丈夫、教祖がそばにおられる」と思っ

心を落ち着かせていたこともあって、おさづけを取り次ぐことが決まったとき「教祖が

られる!!」と身に染みて実感しました。

すごく嬉しい反面、緊張しながら取り次がせていただき、何とも言えない気持ちで、とにかく今、おたすけさせていたでいることとありがたさがこみ上げ、涙が溢れてきました。おさづけさせていただいた方も、泣いておられたみたいで、さらにおたすけの喜びが倍増となりました。

最後の学修、本当にありがたい経験ばかり

で、今まで以上に教祖を感じることができ、信仰する喜び、ありがたさの意味を実感することができました。言葉にできないものを沢山プレゼントしていただいたように思います。

(みのり塾 大学四年生 女子)

天理教の仲間って本当にいいなあと改めて思いました。友達の熱い話を聞くと、こちらパワーをもらい、これからの生き方、考え方も良い方へ変わる気がしました。おもしろいことをして、ふざけているように見えて、天理教に真剣で本気で生きている友達が大好きです。学修に来ることができて、もっと言えば天理教の家に生まれてよかったと本当に思います。そして、兄を支え、笑顔あふれる教会を作ります。

(つなぎ塾 大学二年生 男子)

私は今回、初めて路傍講演をしました。前日から原稿を考えることが本当に難しく、別にうまく書くこうとしていたわけでもないの

に、どうやって書けばいいのか、どのように伝えたらいいのか本当に分からなかったです。しかし、そんな時でもカウンセラーさんが傍にいてくれ、すごく嬉しかったし、明日頑張ろうって思うことができました。

路傍講演の前は、本当に本当に緊張して、正直何回も「無理」って言いたくなりました。でも、私たちが路傍講演する前に、私たちのことを思っ最初路傍講演してくださったカウンセラーさんがいる。後ろには一緒に過ごした仲間がいる。そして神様がついていてくださる。そう思うと、一気に「やったれ」って思いました。話している内にだんだんと気持ち熱くなり声が大きくなっていました。読み終えた時には学修一番の達成感を得ることができました。

私は今回の学修で、お道に対する自分自身の達成感と、お道につながる仲間を得ることができました。

(よふき塾 専門学校二年生 女子)

学生生徒修養会 大学の部

受講生感想文

今回の学修は、教祖の御心を感じることができた一週間でした。また、教祖のおひざもとでお道について学べたことは、とても貴重な経験となりました。陽気ぐらしの実現のために、お道の教えをお伝えくださった教祖に感謝し、次代を担うようぼくである私たちが多くの人にこの教えを伝えていこうと思います。

路傍講演、神名流し、リーフレット配りはどれも良い経験となりました。「この教えの良さをもつと沢山の人に知ってもらいたい！」という強い思いを持てば、神様はいつもそばで見守ってくださっていると思うし、蒔いた種はすぐには生えなくても、時間をかけて必ずどこかで生えると強く思いました。

そして、仲間の大切さを実感した一週間で

した。私は高校の部を二回経験しましたが、大学の部はまた違う内容で新鮮でした。所属教会は遠くてなかなか参拝に行きませんが、いつも心に神様のことを思つて通らせていた
だきたいと思います。

(まこと塾 大学一年生 女子)

全期間を通して、自分自身の心と向き合う必要があるということを感じました。また、私はまだまだお道に対する信仰心が甘いということに気付かせていただきました。もつと、親神様、教祖にもたれられるようになったら良いなと思います。

今回の学修で初めて路傍講演をさせてもらったので、地元に帰ったら親と一緒に路傍講演をさせてもらいたいなと思いました。まだまだ私の信仰は始まったばかりですが、これからお道の人になっていけるように頑張るぞ！

（いさみ塾 大学一年生 女子）

(いさみ塾 大学一年生 女子)

学生生徒修養会 大学の部

カウンセラー感想文

今回初めて学修大学の部のカウンセラーの御用をさせていただきました。自分にこの御用ができるのかとても不安でしたが、事前研修会に参加し「教祖の御心を求めて」のテーマのもと、自ら教祖を求め、学生のことを考え、学修に込める思いをくり返し聞かせていただき、どうでも学生に教祖を感じて帰ってもらいたいと思いいけるだけの理作り心作りにつとめ、本期間に臨みました。

初日、緊張はありましたが、教祖はこうして子どもが帰ってくることを待ち望み喜んでおられると思うと、笑顔でお迎えすることができました。班の中にはみんなと一緒に過ごすことが難しく、距離を置いて過ごす学生がいました。相方のカウンセラーをはじめ、周りのスタッフの先生方、班の仲間もどうかとお願いづとめやおさづけの取り次ぎをしてくださいました。その中、私はなかなか向き合えずにいたのですが、こんな時教祖だったらどうされるかと思っ

て接していくうちに、その学生も、教祖は今、

自分に何を伝えようとされているのかと考えてくれています。

にをいがけ前日の夜に神殿で班と合流することができ、翌日のにをいがけではしっかりと嬉し、教祖がみんなの心をお受けとりくださったさうってお働きくださり、そばにいてくださるのだと感じることができました。また残り五分となつた時、班のある学生が心定めをしたおさづけの取り次ぎを、どうしてもさせてもらおうとあきらめず、最後の一枚のチラシを渡した方におさづけを取り次がせていただくことができました。相手の方は涙を流して喜んでおられ、そうして最後まであきらめずに教祖を信じたその学生に、教祖がお働きくださり喜びの姿をお見せいただいたのだと思いました。

こうして、それぞれが教祖を感じ、に、を、い、が、け、の喜びを知り、学修が終わった今からおたすけをもっと頑張っていきたいと話してくれました。教祖は手を引いてお連れくださっていること、どんな中でも自分の考えではなく教祖の御心を感じようとする中に、必ずたすかる方法があると感じることができ、本当に有難かったです。

(まこと塾 女子カウンセラー)

(まこと塾 女子カウンセラー)

立教179年 学生生徒修養会

修了者数 539名

男子 290名 (54%)
女子 249名 (46%)

●学校別／参加回数別

	男	女	合計
天理大学	137	64	201
その他	153	185	338
二回目以上	116	89	205
初参加	174	160	334

●別席者集計

	男	女	合計
初 席	2	2	4
中席/満席	26	33	59
合 計	28	35	63

大学の部 受講生データ

●保護者の立場別

	男	女	合計
教会長(後継者)	198	136	334
布教所長(後継者)	12	15	27
ようぼく	68	84	152
信者	6	4	10
未信者	6	10	16

●本人の立場

	男	女	合計
ようぼく	240	205	445
別席運び中	46	41	87
その他	4	3	7

※直属別集計は p6～7に掲載しております。

立教179年 学生生徒修養会 大学の部 直属別データ

※受講生データはp4～5に掲載しています。

番号	直属	男	女	合計
0	本部	3	3	6
1	郡山	5	4	9
2	兵神	8	3	11
3	山名	5	2	7
4	船場	3	2	5
5	河原町	5	3	8
6	撫養	3	4	7
7	東	2	1	3
8	敷島	10	5	15
9	日本橋	0	0	0
10	高安	5	9	14
11	南海	3	4	7
12	芦津	3	4	7
13	高知	2	5	7
14	北	2	3	5
15	湖東	1	3	4
16	甲賀	2	0	2
17	水口	0	0	0
18	中河	7	8	15
19	名京	0	1	1
20	中和	2	3	5
21	櫻井	4	1	5
22	筑紫	1	0	1
23	越乃國	1	2	3
24	名東	3	1	4
25	麴町	0	0	0
26	日光	3	0	3
27	飾東	1	1	2
28	東本	8	5	13
29	嶽東	2	4	6
30	島ヶ原	1	1	2
31	堺	0	0	0
32	御津	2	1	3
33	城法	3	2	5
34	生野	1	1	2
35	東愛	5	3	8
36	本島	3	3	6
37	牛込	2	1	3
38	深川	0	2	2
39	浅草	2	1	3
40	西陣	2	3	5
41	大縣	4	1	5
42	社	0	1	1
43	神川	1	2	3

番号	直属	男	女	合計
44	笠岡	3	2	5
45	西宮	5	2	7
46	明和	4	2	6
47	明城	0	2	2
48	大江	4	4	8
49	旭日	0	2	2
50	池田	2	2	4
51	阪東	0	1	1
52	蒲生	3	1	4
53	日野	1	3	4
54	朝倉	3	3	6
55	佐野原	0	0	0
56	高岡	1	1	2
57	愛知	2	2	4
58	梅谷	1	1	2
59	平安	0	0	0
60	豊岡	3	2	5
61	治道	1	3	4
62	都賀	0	0	0
63	川之江	0	2	2
64	周東	5	1	6
65	南阿	4	2	6
66	香川	2	1	3
67	中紀	1	1	2
68	津	2	0	2
69	秩父	2	3	5
70	中津	0	0	0
71	岐美	6	0	6
72	熊本	1	1	2
73	那美岐	1	2	3
74	中野	2	1	3
75	秦野	1	0	1
76	立野堀	1	3	4
77	中央	0	1	1
78	南紀	2	0	2
79	北陸	3	1	4
80	東濃	1	1	2
81	岡	2	2	4
82	八木	0	0	0
83	洲本	2	2	4
84	錦江	0	0	0
85	繁藤	2	0	2
86	大森町	0	0	0
87	防府	1	4	5

※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

番号	直属	男	女	合計
88	愛豫	0	3	3
89	津輕	0	0	0
90	阿羽	0	0	0
91	伊野	1	0	1
92	磐城平	1	0	1
93	西海	3	4	7
94	新潟	0	0	0
95	中根	0	1	1
96	肥長	0	0	0
97	名古屋	6	6	12
98	奈良	1	0	1
99	西	0	2	2
100	上之郷	0	4	4
101	益津	3	0	3
102	小牧	2	1	3
103	府内	0	1	1
104	東肥	1	0	1
105	都	0	0	0
106	西成	0	2	2
107	南	1	3	4
108	山陰	0	2	2
109	鹿島	2	1	3
110	此花	6	0	6
111	仙臺	1	1	2
112	東海	4	0	4
113	大鳥	0	0	0
114	古市	0	0	0
115	神崎	0	1	1
116	甲府	1	1	2
117	本保	0	0	0
118	本愛	3	1	4
119	本芝	2	0	2
120	山國	0	1	1
121	京城	1	2	3
122	東神田	4	4	8
123	北洋	1	0	1
124	宇佐	1	1	2
125	岡山	1	1	2
126	泉	0	0	0
127	東中央	0	0	0
128	城山	0	1	1
129	静岡	0	0	0
130	白羽	0	2	2
131	伊那	0	1	1

番号	直属	男	女	合計
132	小南部	1	3	4
133	雨龍	0	0	0
134	愛静	0	0	0
135	紀陽	1	0	1
136	大垣	5	0	5
137	鎮西	0	0	0
138	生駒	3	1	4
139	中背	0	1	1
140	高松	0	2	2
141	五條	1	2	3
142	沼津	0	0	0
143	網干	0	0	0
144	宇仁	0	2	2
145	双名島	0	1	1
146	夕張	1	0	1
147	山陽	2	0	2
148	本荏	0	1	1
149	国名	1	1	2
150	玉島	2	2	4
151	網走	0	0	0
152	松阪	4	2	6
153	越知	2	1	3
154	本理世	9	9	18
155	加古	0	0	0
156	秋津	1	0	1
157	幅下	4	3	7
158	亀岡	0	1	1
159	大原	1	0	1
502	尾道	0	1	1
503	淀	0	1	1
508	琵琶	3	0	3
509	網島	1	1	2
511	上町	1	0	1
514	豊繁	2	0	2
517	天元	1	0	1
518	浪華	1	0	1
540	安東	0	1	1
546	やまとよふき	0	1	1
548	治文	1	0	1
553	伊勢	1	0	1
572	神奈川台	1	0	1
581	鷄林	0	1	1

立教百七十九年 学生生徒修養会
高校卒業生コース 開催報告

「学生生徒修養会 高校卒業生コース」が、三月六日から八日の期間親里において開催された。これは高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進む大切な時期に、親神様の御教え、教祖のひながたを再確認するとともに、親神様、教祖はもとより親やこれまで自分を支えてくださった方々への感謝の気持ちを確かめ合い、同世代の道の仲間とのつながりを深められるよう、企画されたコースである。卒業後、どのような環境においても、おごちば、教会につながり、信仰に根ざした生活を送ることができるよう、受講生二百三十五名がスタッフ八十名とともに密度の濃い三日間を親里で過ごした。

初開催となった昨年は一塾体制であったが、本年は募集定員を増やし、三塾に分かれての開催となり、一班九名程の受講生に、男女カウんセラーが付き添った。

受講生はそれぞれの宿舎で受付を済ませ、本コースがスタート。初日は、グループタイムを通して、普段当たり前だと思っているこ

とがどれほど有り難いことなのかをお互いが気づき、その上で、親神様の御守護の尊さについてお話を聴いた。

二日目は、本部婦人中山たまよ先生より「教祖を慕う」と題して講話をいただいた。教祖の御心を学ばせてもらうとともに、今もご存命でお働きくださっている教祖をお慕いして、日々を過ごすことが大切ということをお話いただいた。その後、講話ふりかえりの時間を持ち、それぞれが教祖に対する思いを語り合うことで、より一層教祖を身近に感じ、更に教祖がお喜びくださる自らの実践を考え、発表し合った。午後からの塾別行事、全体行事では、お楽しみ要素が盛り込まれたプログラムを行い、大変和やかな雰囲気職員以外の大勢の仲間とも親睦を深めた。班タイムと題した更に班独自の時間では、天理市内で神名流しをする班や神殿のトイレ掃除をする班、お互いの親交を更に深め合うエクササイズを行う班など、それぞれの班の状況に応じて有意義に過ごした。

夜にはランタンの淡い光を囲み、「自分の信仰と夢を語る」と題して班内感話を行った。親や教会長さんなど、今まで育ててくださ

た方々に教えてもらったことや言葉を思い起こし、今の自分の正直な気持ちを語り、お互いが真剣に聞き入った。照明の効果も手伝って、今まであまり自分の話をしなかった受講生も思いを伝えることができた。中には涙する姿も見られ、班員同士がお互いの絆を深める貴重な時間となった。

最終日には、塾長より「明日の君たちへ」と題した講話を聴いた後、講話を振り返り、この三日間で学んだことを再確認した。そして教えを基に、この先自分がどう歩んでいくのかを決意し、シートに記入し、封筒に入れて持ち帰った。これは、それぞれが新生活をスタートした頃、開封してシートを読み返すことで、親里で学んだことや気づいたことを思い起こしてもらうための自分への宝物である。

閉講式では表統領中田善亮先生より、高校卒業生にご期待くださるところをお話しいただき、一同真剣な面持ちで修了した。

二泊三日のスケジュールを高校卒業生が皆、積極的な姿勢で受講し、無事に本コースが開催できたことをここに報告する。

学生生徒修養会 高校卒業生コース

受講生感想文

二泊三日の学修を終えて、今後の自分の通り方などを改めて考えさせられ、たくさん学ぶことができました。四月からの生活で、今回学んだことを活かして親神様に喜んでいただけるように日々の生活に感謝して通らせていただきたいと思います。

(男子受講生)

仲間の大切さ、時間の大切さ、周りの人にすぐく支えられていることを、この三日間で学ぶことができました。これからは、周りの人が嫌がってやらないことを進んでしていきたいです。悩み事が出来たときは、学修で出会った仲間や頼れる人たちに相談をしたいです。学修は自分を見つめ直す良い機会で、かけがえのない期間でした。こ

れからもこの期間の事を心にとめて、辛いときは写真などをみて、元気を出して頑張っていきたいと思います。(女子受講生)

何事もありがたいと思うことや、天理教の教えのすばらしさを学びました。四月からの生活で、まずは、誰かのための生き方をしようと思いました。そして、当たり前前を当たり前だと思わず「ありがたい」と感じた。そして、どんなことがあってもプラスに考えて、感謝することを忘れずに通っていきたいと思いました。(男子受講生)

未信者だったので、天理教用語をいっぱい学んだり、神様って本当にいるんだなと思うことができました。四月から大学に通いますが、これからも天理教となるべく関わっていきたいと思いました。大学に行って新しい友達とすぐ仲良くなれるよう、自分から声をかけていきたいです。

(女子受講生)

立教179年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 受講生データ

修了者数 235名

男子 108名 (46%)
女子 127名 (54%)

●在学

天理高校Ⅰ部	30
天理高校Ⅱ部	5
教校学園高校	38
その他高校	162

●本人立場

ようぼく	110
運び中	109
その他	16

●保護者の立場

教会長(後継者)	114
布教所長(後継者)	9
ようぼく	85
信者	8
その他	19

立教179年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 直属別データ

番号	直属	男	女	合計	番号	直属	男	女	合計	番号	直属	男	女	合計	番号	直属	男	女	合計
0	本部	1	0	1	44	笠岡	1	0	1	88	愛豫	0	0	0	132	小南部	1	0	1
1	郡山	4	4	8	45	西宮	3	3	6	89	津輕	0	0	0	133	雨龍	0	0	0
2	兵神	2	4	6	46	明和	0	1	1	90	阿羽	0	0	0	134	愛静	0	0	0
3	山名	1	2	3	47	明城	0	0	0	91	伊野	0	0	0	135	紀陽	0	0	0
4	船場	1	1	2	48	大江	1	1	2	92	磐城平	0	0	0	136	大垣	0	0	0
5	河原町	4	7	11	49	旭日	1	0	1	93	西海	2	1	3	137	鎮西	0	0	0
6	撫養	0	0	0	50	池田	1	0	1	94	新潟	0	0	0	138	生駒	2	2	4
7	東	0	1	1	51	阪東	0	0	0	95	中根	0	0	0	139	中背	0	1	1
8	敷島	0	1	1	52	蒲生	0	1	1	96	肥長	0	0	0	140	高松	3	1	4
9	日本橋	2	2	4	53	日野	0	1	1	97	名古屋	1	1	2	141	五條	0	0	0
10	高安	3	3	6	54	朝倉	0	0	0	98	奈良	0	0	0	142	沼津	0	0	0
11	南海	0	0	0	55	佐野原	0	1	1	99	西	1	1	2	143	網干	0	0	0
12	芦津	2	2	4	56	高岡	0	0	0	100	上之郷	0	0	0	144	宇仁	0	0	0
13	高知	2	0	2	57	愛知	0	2	2	101	益津	0	0	0	145	双名島	0	0	0
14	北	0	0	0	58	梅谷	0	1	1	102	小牧	0	0	0	146	夕張	0	0	0
15	湖東	0	1	1	59	平安	0	0	0	103	府内	0	0	0	147	山陽	0	1	1
16	甲賀	0	2	2	60	豊岡	1	2	3	104	東肥	0	1	1	148	本荏	0	1	1
17	水口	0	1	1	61	治道	0	0	0	105	都	0	0	0	149	国名	1	0	1
18	中河	6	2	8	62	都賀	0	0	0	106	西成	0	0	0	150	玉島	1	3	4
19	名京	0	0	0	63	川之江	0	0	0	107	南	2	1	3	151	網走	0	0	0
20	中和	2	1	3	64	周東	0	0	0	108	山陰	0	0	0	152	松阪	2	0	2
21	櫻井	0	3	3	65	南阿	1	5	6	109	鹿島	0	2	2	153	越知	1	1	2
22	筑紫	0	0	0	66	香川	2	2	4	110	此花	0	0	0	154	本理世	0	0	0
23	越乃國	2	0	2	67	中紀	0	0	0	111	仙臺	1	0	1	155	加古	1	1	2
24	名東	0	2	2	68	津	0	0	0	112	東海	0	0	0	156	秋津	0	0	0
25	麴町	0	2	2	69	秩父	0	1	1	113	大鳥	3	0	3	157	幅下	2	7	9
26	日光	0	0	0	70	中津	1	0	1	114	古市	0	0	0	158	亀岡	2	0	2
27	飾東	1	2	3	71	岐美	0	1	1	115	神崎	0	1	1	159	大原	3	2	5
28	東本	1	2	3	72	熊本	0	0	0	116	甲府	0	0	0					
29	嶽東	0	0	0	73	那美岐	0	0	0	117	本保	0	0	0	503	淀	1	0	1
30	島ヶ原	0	0	0	74	中野	1	3	4	118	本愛	0	1	1	505	栗太	2	0	2
31	堺	0	0	0	75	秦野	1	0	1	119	本芝	3	0	3	507	大分市	0	1	1
32	御津	0	0	0	76	立野堀	0	0	0	120	山國	0	0	0	508	琵琶	2	2	4
33	城法	3	1	4	77	中央	0	0	0	121	京城	0	0	0	515	名張	0	1	1
34	生野	0	0	0	78	南紀	0	1	1	122	東神田	0	0	0	519	吉備	1	0	1
35	東愛	1	4	5	79	北陸	0	1	1	123	北洋	0	0	0	527	本明實	1	2	3
36	本島	3	0	3	80	東濃	0	0	0	124	宇佐	0	0	0	540	安東	1	0	1
37	牛込	1	0	1	81	岡	1	4	5	125	岡山	1	2	3	546	やまとよふき	0	1	1
38	深川	1	0	1	82	八木	0	0	0	126	泉	0	1	1					
39	浅草	1	0	1	83	洲本	0	0	0	127	東中央	0	0	0					
40	西陣	0	0	0	84	錦江	0	1	1	128	城山	0	0	0					
41	大縣	3	1	4	85	繁藤	2	0	2	129	静岡	0	0	0					
42	社	0	0	0	86	大森町	1	0	1	130	白羽	0	0	0					
43	神川	0	1	1	87	防府	2	3	5	131	伊那	0	1	1					

※受講生データはp9に掲載しています。
※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

〈屋内〉まなびば研修会

開催報告

二月二十六から二十七日の二日間、第十二母屋において、〈屋内〉まなびば研修会を開催した。今回の研修会には、二十教区、また海外部からの受講を含め四十七名が参加した。平成二十八年度屋内まなびばプログラムでは、「おやさまゝいつも心に喜びを」というテーマをかがげ、どんな中でも喜んで通られた教祖について学ぶことによって、日々の生活の中で行き詰まって悩んだり、辛い事に直面した時でも、喜びを胸に歩んでいけるということを少しでも感じてもらいたいとの思いを込めたプログラムの内容となっている。

研修会初日は、主に自己紹介やグループづくりを行うグループタイム（以下GTと表記）①「お言葉カルタ」、GT②「GO！GO！地球防衛軍！」の体験、二日目は、テーマに基づいたGT③「あしあと」、④「コトノハ」の体験、及び進め方説明を行った。

GT②では、巷で流行りの「脱出ゲーム」をヒントに、グループの凝集性を高め、協調性を育むことをねらいとして「GO！GO！地球防衛軍！」を行った。数々の課題をこなすことで、一人ひとりの個性を引き出し、その大切さについて楽しみながら学んだ。

メインとなるGT③「あしあと」は、メンバーの発言に耳を傾け、多様な価値観が存在することを知ると共に、教祖の御心について学び、自分の中で喜べなかったことも喜べるということに気づくことをねらいとして行われた。

GT④「コトノハ」では、二日間のまなびばで学んだことをふりかえった後、GT①で行った「お言葉カルタ」の中から心に残ったお言葉を改めて選び、寄せ書きを行った。今回の気づきを形にして自分へのお土産として持ち帰ることで、後々振り返り、学びにつなげることがねらいである。

最後に、吉川委員長より人材育成の重要性と、今後のまなびばについての思いを聞き、研修会は全プログラムを修了した。

青空

学生担当委員会で御用をさせていただいた七年間、周りの先生方、仲間、そして学生からたくさんのことを学ばせていただきました。

その中でも、特に学び、育てていただいたのが「おたすけの心」です。おさづけを取り次がせていただくこと、お願いづとめをさせていただくことだけが「おたすけ」ではない、ということ。「学生生徒修養会」の係員という御用を通して学ばせていただきました。

学修期間中は、自分のことは後回しにして、とにかく目の前の学生のことを第一に考え、学生のために、また周りの仲間のために、必死になって心と体と時間を使わせていただいていたように思います。そのような経験がほぼ無かった私にとって、衝撃的な経験でした。そして、こうした心の遣い方も「おたすけ」であると気付かせていただきました。

御用を通して育てていただいた心を、学修という特別な時間の中だけでなく、日々の教会生活においても常に使わせていただけるように努力し、より大きな「おたすけの心」に育てていきたいと思っています。

人材育成部部員 神谷理世

第53期 天理教学生会委員総会 開催要項

日頃は学生会活動にご理解、ご協力をいただき、更には「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」に向かう多くの学生に、たくさんの御心をかけていただき、誠にありがとうございます。

この度、道につながる学生が全国の仲間とのつながりを感じ、道の次代を担うようほくへと成人していくために、委員総会を開催させていただきます。活動方針の議決、講話、練り合いなどの時間を通して、道の学生の一手一つを目指します。

何卒貴教区・直属の学生リーダーにお声がけいただきますよう、よろしくお願いします。

【趣 旨】

教区・直属学生リーダーがおぢばに帰り集い、それぞれの活動について話し合う。その中で教区・直属お互いを理解し、今回の委員総会で決定する活動方針に心をそろえて一手一つにスタートしていく場とする。

また、道の次代を担うようほくの姿に近づけるよう、さらに成人の道を歩ませていただくことを決意する。

【日 程】

5月3日（火）10時集合 5月5日（木）16時解散（予定）

【参加対象】

各教区・直属学生会委員長及び学生リーダー（高校生から大学生の年齢層）

【参加定員】

各教区・直属3名まで（委員長・代表者が不在の場合でも3人参加可能）

※学生会が結成されていない直属も是非ご参加ください。

【参 加 費】

ひとり 1,500円 ※当日、お持ちください

【宿 舎】

第12母屋

【持 ち 物】

参加費、保険証、筆記用具、ハッピー、宿泊に必要なもの、傘

【内 容】

第53期天理教学生会活動方針の議決、学生活動について、講話、練り合い、レクリエーション 等

【問い合わせ】

〒632-0035 奈良県天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階

Tel 0743-63-1511 内線 5820（天理教学生会）

Tel 0743-63-2489 内線5817（天理教学生担当委員会事務局）

申込締切 4月18日（月）

「まなびば」開催会場一覧 《4月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
兵庫 ※阪神ブロック	4月2日13時～3日12時30分	天理教雲雀丘分教会	北原	
北海道	4月23日14時～24日14時	教務支庁	大友	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

〈H a p p i s t〉 個人購読

学生層育成のための月刊誌〈Happist〉は、お道の教えと情報を伝えるとともに、教理を求める手掛かりとして、また教会と高校生、大学生、専門学校生をつなぐ声かけの一助として活用されています。

個人購読とは、学生担当委員会より学生本人の下宿先などへ直接〈Happist〉を送るものです。

手渡しが困難な学生がおられましたら、是非ご活用ください。

【要項】

購読期間：購読開始月から同年度3月号まで。

年度ごとに更新手続きが必要になります。2月号発送時に更新手続き用紙を同封いたします。

対 象：高校生・大学生・専門学校生など学生層全般。

申込方法：所定の申し込み用紙に記入の上、学生担当委員会事務局に直接、または郵便、FAXにて提出してください。料金のお支払いが確認でき次第発送いたします。

また、TSA websiteからも申し込み可能です。

支払方法：下記の購読料金を参照の上、学生担当委員会事務局にて直接お支払いいただくか、事務局よりお渡しいたします振込用紙にて郵便振込となります。

購読料金 （ひと月1冊100円＋送料80円＝180円）

4月号～	5月号～	6月号～	7月号～	8月号～	9月号～	10月号～	11月号～	12月号～	1月号～
2,160円	1,980円	1,800円	1,620円	1,440円	1,260円	1,080円	900円	720円	540円

※上記は購読開始月から3月号までの購読料です。

Happist 5月号 予告

[特集]

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会

連 載

式典・真柱様お言葉

・教理コーナー

明日を展くをやの言葉 佐藤 浩司 （天理大学名誉教授）

・信仰エッセー

明日の地図ひろげて 平野 総吉 （天理教青年会本部育成部長）

・マンガ

空色カレイドスコープ ニシカワヨウコ

Happist 5

明日につながる学生マガジン

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

12

立教179年〈屋外〉まなびば研修会 開催要項

平素は、高校生の集い「まなびば」開催の上にご尽力いただき、誠にありがとうございます。
この度「まなびば」の活性化、また学生層育成を担う人材づくりの上に、〈屋外〉まなびば研修会を開催いたします。まなびば担当者はもちろん、まなびばスタッフも是非ともご受講ください。

記

【日時】

立教179年5月27日（金）～28日（土）
集合・受付 5月27日 12時30分
解散予定 5月28日 13時30分

【会場】

本部第12母屋（駐車場は北2駐車場をご利用ください）

【対象】

・まなびば担当者
・まなびばスタッフ（各教区まなびば担当者を除く3名まで受講可）

【内容】

〈屋外〉まなびばの体験、進め方説明

【受講費】

2,000円 ※まなびば担当者は免除

【携行品】

ハッピー、保険証、筆記用具、雨具、その他宿泊に必要なもの
※女性はズボン着用でご集合ください。

【申し込み】

申込用紙に必要事項を記入の上、受講費を添えて学生担当委員会事務局にお申し込みください。

【申込締切】

立教179年5月14日（土）

【問い合わせ】

天理教学生担当委員会事務局
Tel 0743-63-2489（直通） 内線 5817

5月25日 午後一時から
直属担当者懇談会

- 【期 日】

立教179年5月25日（水）
- 【時 間】

午後1時～3時30分（受付12時30分～）
※引き続き午後4時より例会
- 【会 場】

本部第38母屋
- 【対 象】

直属学生担当委員長 他1名 ※各直属計2名
- 【内 容】

講話、ねりあい

5月25日 例会後
教区・直属委員長懇親会

- 【期 日】

立教179年5月25日（水）
- 【時 間】

例会後引き続き ※16時より例会
- 【会 場】

本部第二食堂
- 【対 象】

教区・直属学生担当委員長
- 【内 容】

懇談会

問い合わせ

〒632-0035 奈良県天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階
Tel 0743-63-2489 内線5817（天理教学生担当委員会事務局）
申込締切 4月25日（月）

お知らせ

四月例会
・期日 立教179年4月25日
・時間 15時半受付 16時開始
・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会
日程・会場案内
【教区】
・愛知 4月30日13時～
教務支庁

報告
二月例会
去る2月25日、教庁4階講堂に於いて「二月例会」を開催。出席は44教区、128直属。

各地の動き
【教区学生層育成者講習会】
・神奈川 2月2日 教務支庁 安井委員出向 50名
・和歌山 2月27日 教務支庁 濱委員出向 20名